

2024年
1月号

明石市議会

自由民主党明石

自民党

明石の成長と発展。私たちが前へ進めます！

ごあいさつ

明石市議会 自由民主党明石
幹事長 千住 啓介

ご家族の皆様と清々しい年をお迎えのことと存じます。謹んでお慶び申し上げます。旧年中は多くの皆様にご声援・ご協力頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

新年を迎えるにあたり、我々自由民主党明石は百折不撓の精神で、市民の幸福追求・市政発展のために取り組んでいく事を、改めて決意いたす所でございます。

さて、明石市発展のためには、**確かな財源確保が肝要です**。しかるべき事業に、しかるべきタイミングで、しっかりと予算配分を行わないと、その事業の効果は減少するものと考えています。**明石市の財政は決して余裕といえるものではありません**。これは12月議会においても市長部局からの答弁でも明らかになっております。

だからこそ、**我々自民党としての責務・役割があります**。それは「**確かな歳入確保**」であります。

令和5年11月に社会基盤整備関係で国土交通省、12月には子供たちの教育環境関係で文部科学省等へ「**確かな歳入確保**」の為に予算要望を行ってまいりました。

令和6年度には西明石駅南の再開発や西明石駅ホームドア設置事業が始まります。江井ヶ島松蔭新田線や山手環状線などの継続事業もあります。また、老朽化した道路、橋、公園、下水道施設などのインフラ関係の補修改善事業も多くあります。**市民の安全**

安心に直結する予算であり、また後回しにすれば老朽化が進み、かえって費用も増幅してまいります。

そして、**兵庫県内で最低水準(県内41市町村中、一人当たり教育費38位)の教育費予算確保も喫緊の課題であります**。子供を中心としたまちづくりを標榜してきたにも関わらず、本市の教育費は本当に少なすぎます。市単独で予算確保ができないのなら、国・県の協力と市の工夫をもって歳入確保に努めなければなりません。

「国家百年の計は教育にあり」という言葉がありますが、**未来を担う子供たちの教育費は惜しみなく使うべきです**。今回はエレベーター設置、トイレ改修事業費などの予算要望に行ってまいりました。誰もが安心して学べる環境整備は当然として、国からの予算が付けば、その浮いた分で子供たちの直接的な学びの教育費に充てることができます。**子供たちの学びをさらに進めていくことが明石市の成長につながるものと強く思います**。



明石市民病院の老朽化... どうする？

大前提として、明石市において新型コロナウイルス感染症患者を最初から受け入れたのは明石市民病院であり、それにより必要性を改めて感じたのはもとより、災害医療や2次救急受け入れの観点からも公立病院は必要であると考えます。

現在の明石市民病院の建物は、平成2年11月に新築開業して以来、約33年が経過しています。昨年11月に、**我々自由民主党明石を始めとする議員有志が市民病院の現状を視察し、予想以上の老朽化に早急な対応が必要であると痛感しました**。特に給排水管の老朽化が深刻であり、館内各所に水漏れの痕跡が散見されます。更に、新たに導入された医療機器の上部に位置する天井からの水漏れが発生し、急遽シートで覆うという対応を余儀なくされた事態もあったとのことでした。



ボイラー設備や配電盤などの電気設備も、入れ替えるためのスペースや搬入口が十分に確保されていない現状を踏まえる

と、建設当時の基礎設計概念は、30年を目途に建て替えを想定していたと思われまます。

そこで、我々自由民主党明石は、**明石らしい市民病院のあり方として、現在建て替え予定の県立がんセンター跡地への移転と建て替え、そしてがんセンターとの連携を提案します**。がんセンターと連携することにより、国からの補助金が25%から40%へと増額されるなど、多くのメリットがあります。

病院の建て替えには確かに莫大な財源が必要ですが、**加古川中央市民病院の事例のように、2つの病院を統合し大規模化することで適切な運営を行い、収益を伸ばすことが可能です**。このような取り組みにより、市の財政負担は軽減され、病院は自立して借入金を返済する道が開かれると考えています。優れた医師を集め、病院の設備と機能を充実させ、収益性を高める再整備を進めることで、**財政的にも再整備費用の借入を自立的に返済できる病院を目指すことが最善の策**と思われまます。それにはやり方とタイミングが重要になります。

今こそ、その決断を下す時だと我々は考えまます。

工場立地法地域準則条例の緩和が
中小企業の工場にも適応されることとなります

令和3年12月議会において、議員提出議案である「**明石市工場立地法地域準則条例**」を賛成多数で可決しました。この条例は、市内の特定工場内の緑地面積率を国が定める範囲内で緩和するものです。この条例によって、一定規模以上の工場内の緑地と環境施設の面積は、工場立地法によりそれぞれ敷地面積の20%以上と25%以上に規定されていますが、本条例で国が定める範囲内で、これを緩和しようとするものです。

市内には、工場立地法の対象となる44の工場があり、そのうち昭和49年の法施行前に建設された国の基準に達していない18の工場が存在します。これらの工場では、現行の緑地面積率が足かせとなり、老朽化した施設の建て替えや設備の更新が困難であり、空調設備もないような過酷な労働環境により従業員の確保にも苦慮していました。これにより工場の市外への移転を検討せざるを得ない状況となっていました。この条例による緩和によってその懸念も解消されることになりました。

この条例制定後、本来なら速やかに条例対象外となる9000㎡未満の工場に対しても、市が兵庫県へ「工場等の緑化に関する届け出」を提出し、同

じ条件に緩和するべきでありました。しかし、県への届け出さえすればいいだけの案件に対して、明石市は施行後1年以上経過しても「調査検討中」との答弁が続いていました。

老朽化した工場の刷新や労働環境の改善を望む声に応えられない状況は、大手企業の大規模工場に比べて体力に劣る中小企業の工場こそ、早急に対応することが重要であり、また敷地面積の有効利用と生産性の向上が必要であると考えられます。いつまでもこの逆転現象を放置することは、公平性・平等性の観点からも不条理です。このため、緩和の必要性を何度も強く主張し続けてまいりました。

その効果もあり、本年12月議会では、市から兵庫県に対して届け出を提出することが明言されました。これにより、**工場立地法地域準則条例の緩和が中小企業の工場にも適応されることとなります**。



神戸マラソン、明石まで延伸!

昨年、令和5年12月5日に、神戸市から神戸マラソンのコースを明石市(大蔵海岸)まで延長する案が発表されました。神戸マラソンは、平成23年11月20日に第1回大会が開催され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、第10回大会が2年連続延期となり、令和4年に再開されました。

そして、昨年、第11回大会が11月19日に開催され、すべての制限がなくなり、ランナーだけでなく沿道の方も一緒になって大変盛り上がった大会となりました。

この令和7年大会からの延伸案には、私たち自由民主党明石が、9月26日に神戸市会及び自由民主党神戸市会議員団に表敬訪問した際(自由民主党明石市政広報紙2023年11月号に掲載)、神戸マラソンの完走経験を持つ議員から、現状のコース形状を踏まえて、折り返し地点を明石まで延長する案の要望を行いました。

神戸マラソンの大会テーマは感謝と友情です。阪神・淡路大震災からの被災地の復興を経て、今日に至るまで、手を差し伸べていただいた国内外の人々や地域に対する感謝の気持ちを表しています。マラソンは、走る人と応援する人が完走や目標達成の喜びを共有し、知らない人同士が仲間になる力を持っています。その象徴として、約2万人のランナーが身につける黄色い手袋が、ひまわりの花のように咲きほこるスタートセレモニーが行われます。また、阪神・淡路大震災からの復興を遂げた明石市も、スタートセレモニーで歌われる震災復興を願うシンボル曲「しあわせ運べるように」を通じて、その思いをランナーが明石市へ運んでくれることでしょう。この延長計画は、改めて神戸マラソンの感謝と友情というテーマを考える機会となるかもしれませんが、両市には様々な課題がありますが、今後もさらなる連携を図ってまいります。

この延長計画は、改めて神戸マラソンの感謝と友情というテーマを考える機会となるかもしれませんが、両市には様々な課題がありますが、今後もさらなる連携を図ってまいります。



自由民主党明石は花火を応援しています

令和5年12月20日に開催された明石市議会で、「打ち上げ花火の安全な実施のために、市と市民が協力して取り組む安全に関する請願」が多くの支持(賛成28、反対1)を受け、賛成多数で採択されました。この請願の採択には、昨年11月3日に成功を収めたシークレット花火が好評を博し、多くの市民からの高い評価を得たことが大きな要因となっています。



請願の紹介を行った自由民主党明石として、この請願に賛同し、その実現を全力で支援しています。明石市内で再び花火が上がることを目指した活動には、当会派所属議員が長年にわたり熱心に関わり

続け、市民と共に歩んでまいりました。22年前の悲劇を教訓に、市民と協力し安全な花火大会の開催方法を地道に模索してきました。昨年のシークレット花火の成功は、いかにして安全を確保できるかの検証を行い、安全に関するシンポジウムを開催して市民の安全意識を高めるなど、花火を安全に開催するための準備を長年にわたって積み重ねてきた成果であります。明石市内の3箇所ですべて同時に成功させたことは、実行委員会と共に努力してきた我々にとって、大変喜ばしい成果です。

明石市の花火に関しては、関わる多くの人々の想いが重なり合い、複雑に絡み合っています。それぞれの想いを大切にしながら、未来への一歩を踏み出すことができるよう、我々自由民主党明石は、明石市が市民と共に安全かつ魅力あふれる花火大会を実現するための支援を継続してまいります。

明石市が市民と共に安全かつ魅力あふれる花火大会を実現するための支援を継続してまいります。

国への予算要望

明石市発展のための「確かな財源確保」に向け、自由民主党明石は、国に予算要望を行っています。



渡海紀三朗衆議院議員



末松信介参議院議員



加田裕之参議院議員



文部科学省にて教育予算拡充の要望

せんじゅう けいすけ
千住 啓介
幹事長
(事務所) 二見町福里
Tel: (事務所) 078-915-0137
Mail: sen1010@camel.plala.or.jp
【所属委員会】建設企業常任委員会 委員長

いし ひろのり
石井 宏法
副幹事長
林3丁目
Tel: 078-922-1181
【所属委員会】総務常任委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長

いとう けいじゅん
井藤 圭順
会計幹事・監査委員
太寺2丁目
Tel: (事務所) 078-911-4087
【所属委員会】総務常任委員会

たつみ こうじ
辰巳 浩司
東仲ノ町
Tel: 078-911-4834
【所属委員会】総務常任委員会

明石市議会 自由民主党明石

私たち明石市議会 自由民主党明石は8名の議員で構成。明石市議会の重責を担う会派としての責任と覚悟を持って市民の皆様の代表者として頑張っています。

みよし ひろし
三好 宏
西明石南町2丁目
Tel: (事務所) 078-922-0201
Mail: ganbare@miyohiro.net
【所属委員会】文教厚生常任委員会 副委員長

たのもと かずお
榎本 和夫
大久保町高丘6丁目
Tel: (事務所) 080-4007-4148
【所属委員会】議会運営委員会
生活文化常任委員会

ほいの しゅうへい
灰野 修平
明石市議会 副議長
大久保町駅前1丁目
Tel: (事務所) 078-936-0055
Mail: haino0055@gmail.com
【所属委員会】文教厚生常任委員会

いづも ゆきこ
出雲 有希子
(事務所) 大町2丁目
Tel: (事務所) 080-9333-7331
【所属委員会】建設企業常任委員会

ご意見・お問い合わせ

明石市議会 自由民主党明石

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

FAX 078-918-0466

MAIL contact@jimin-akashi.jp

HP https://jimin-akashi.jp

※いただきましたご意見は議会活動の参考にさせていただきます。※この広報紙は政務活動費で発行しています。